

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【公開番号】特開 2008-262200 (P2008-262200A)

【公開日】平成 20 年 10 月 30 日 (2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報 2008-043

【出願番号】特願 2008-100409 (P2008-100409)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

C 0 8 L 101/12 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/22 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 8 4

G 0 3 G 9/08 3 6 5

C 0 8 L 101/12

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 5/00

C 0 8 F 2/22

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 5 日 (2011.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

樹脂モノマーと離型剤モノマーとを含む出発成分から重合されるポリマーを含むケミカルトナー組成物であって、1.30 以下の体積平均粒径分布係数を有する粒子を含むケミカルトナー組成物。

【請求項 2】

樹脂モノマーと離型剤モノマーとを含む出発成分から重合されるポリマーを含む乳化重合凝集法トナー組成物であって、1.30 以下の体積平均粒径分布係数を有する粒子を含む乳化重合凝集法トナー組成物。

【請求項 3】

(a) (i) 樹脂モノマーと離型剤モノマーとを含む出発成分を含む分散相、及び (i) 水と相間移動触媒とを含む出発成分を含む連続相、を含む分散体を形成すること；

(b) 前記樹脂モノマーおよび前記離型剤モノマーを重合させてポリマーを形成させること；

(c) 前記ポリマーと着色剤とを含むトナー前駆体材料を凝集させて、凝集トナー前駆体材料を得ること；および

(d) 前記凝集トナー前駆体材料を合一させて、前記着色剤と前記ポリマーとを含む乳化重合凝集法トナー組成物を得ること、を含む方法。

【請求項 4】

1 . 3 0 以下の体積平均粒径分布係数を有する粒子を含む請求項 3 に記載の方法。